

年度	2018年度	開講部局	工学研究科博士課程前期		
講義コード	U0620101	科目区分	専門的教育科目		
授業科目名	技術戦略論				
授業科目名 (フリガナ)	ギジュツセンリャクロン				
英文授業科目名	Technology Strategy for Management				
担当教員名	伊藤 孝夫				
担当教員名 (フリガナ)	イトウ タカオ				
研究室の場所	C1-212	内線番号	5594		
E-mailアドレス	itotakao@hiroshima-u.ac.jp				
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 後期 4ターム		
曜日・時限・講義室	(4T)月1-2,木1-2:工106				
授業の方法	講義	授業の方法 【詳細情報】	講義・演習を中心に、学生による発表・ディスカッションを行う予定		
単位	2	週時間	4	使用言語	J:日本語
対象学生	すべての大学院生				
学修の段階	6:大学院専門的レベル				
学問分野(分野)	21:社会人基礎				
学問分野(分科)	05:ダイバーシティ				
授業のキーワード	企業戦略、技術戦略、ビジョン、目標、倫理、環境分析、戦略策定ツール				
教職専門科目		教科専門科目			
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ					
到達度評価の評価項目					
授業の目標・概要等	<p>目標：技術戦略は技術のための戦略と情報技術利用のIT戦略の二種類に分けられる。本講義においては、技術をいかに企業経営に利用できるかという問題を経営戦略と関連付けて説明し、技術と戦略との関連の学習を目標としている。</p> <p>概要：本講義においては、技術のための戦略、すなわち、技術開発・技術の利用などに関する戦略との関わりに重点を置きながら、戦略の本質を追求しつつ、多くの技術戦略の成功事例を学習し、技術と経営の関係をはじめ、技術と倫理、技術戦略の構築方法、事業環境分析、戦略の策定ツール及び、企業経営における技術の活用方法などを学習する。</p>				
授業計画	<p>第1回 開講の目的とガイダンス</p> <p>第2回 酒造技術の工業化に対する一企業の取り組み</p> <p>第3回 技術戦略における倫理</p> <p>第4回 起業から世界制覇までのイノベーション</p> <p>第5回 マツダの技術開発と企業経営の歴史 ~ひろしまで生まれ育った自動車メーカーの挑戦~</p> <p>第6回 酒造の技術戦略とものづくり：賀茂鶴の事例</p> <p>第7回 製造業における技術戦略の事例紹介（三菱重工）</p> <p>第8回 日本企業のメキシコ進出</p> <p>第9回 名刺管理ビジネスにおけるイノベーション戦略（富岡・伊藤）</p> <p>第10回アントレプレナーシップとオープンイノベーション</p> <p>第11回 技術戦略：地理空間情報の活用</p> <p>第12回 技術戦略：道の駅と地方創生</p> <p>第13回 資源蓄積と成果を規定する顧客特性：クリステンセンを越えて</p> <p>第14回 大学発ベンチャー成功事例</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>レポートと試験予定を実施する予定</p>				
教科書・参考書等	<p>1) 丹波清（2006）技術経営論，東京大学出版会</p> <p>2) M.E. ポーター（1982）競争の戦略，ダイヤモンド社</p> <p>3) P.ドラッカー（2007）イノベーションと企業家精神，ダイヤモンド社</p> <p>4) J.B.バーニー（2003）企業戦略論 上・中・下，ダイヤモンド社</p>				
授業で使用する メディア・機器等	テキスト，配付資料，音声教材，映像などを利用				
予習・復習への アドバイス	予習復習の資料として参考文献や指定の参考資料を読み、毎回の講義のポイントを理解する。				
履修上の注意 受講条件等	特になし。確率統計学と微積分の基礎知識を求められる時がある。問題意識を持って学習し、積極的に質問することを歓迎する。				

成績評価の基準等	取組態度等25% + レポート等30% + 試験45%
メッセージ	理工系の大学院のみなさんは各自の専門領域の学問を研鑽することが第一であるが、就職後、自分の専門技術をいかに企業経営に役に立つかを考えておく必要がある。本講義においては、企業経営における技術と経営戦略の関連を説明すると同時に、多くの事例学習を通じて、技術戦略の技術とノウハウを学習する。また、講師、特に学外講師に対してはエチケット厳守。
その他	学期末に授業評価アンケートを実施します。回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力し、改善につなげていきます。
すべての授業科目において、授業改善アンケートを実施していますので、回答に協力してください。 回答に対しては教員からコメントを入力しており、今後の改善につなげていきます。	